Liebenzell Mission International of Japan

VOICE

NO. 128

LMI世界宣教会
LM-Japan
振替 00110-1-91993

発 行 日 2022年10月15日
発 行 人　田辺　証夫
編 集 人　小堀　日出春

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

「私にもう一度だけ言わせてください」

バングラデシュ医療宣教師
近藤　恵

みなさまお元気ですか？去年の11月にバングラデシュから戻った私は、まだビザが与えられず、日本にいます。8月27日、バングラデシュのディレクターであるケストナー先生からメールで、リーベンゼラを通して申請していたミッショナリービザが却下されたという知らせが来ました。時間がかかっても与えられるだろうと思っていた私は、困惑しました。ともかく静かにして主が何をおっしゃるのか聞こうと思いました。その夜寝る前に何気なく手にとったのは、「忙しい人の時間管理」という薄い小冊子でした。（ナビゲーター弟子造りシリーズ1、チャールズ・E・ハンメル著）その最後に、こういう記述がありました。

かつて、ポール・カールソン博士という若い宣教師が、アフリカのシンバ族に殺されました。神の摂理のうちに、彼の生涯の仕事は終わったのです。たいていの人はもっと長生きし、カールソン宣教師とはちがって静かに死を迎えることでしょう。しかし終わりがきた時に、神が与えてくださった仕事を果し終えた、と確信する喜び以上に大きな喜びが他にあるでしょうか。

この若い宣教師はきっとやり終えたとは思っていなかったと思いますし、殺されるなんて思いもしなかったでしょう。でも主の摂理の中にあって、彼の人生はこれでいいのだということなのだと思います。そして私のバングラデシュの働きも決してやりとげたという自負はありませんし、あまりに突然です。それでも「バングラデシュでの働きはここまで」というメッセージとして受け止めてもいいのではないかと思いました。でもともかく9月16日の理事会まで、主からの語りかけを聞こうと思いました。

その後、9月5日にケストナー先生夫妻と電話で話しました。その時、BBCS（バングラデシュ・バプテスト教会連合）を通してビザの再申請と言う方法があるということを言われました。そのことを自治医大前キリスト教会の小倉泉師と相談した時、ギデオンが羊毛が濡れるかどうかということでみこころを確かめた、しかも2度確かめたということを指摘されました。1度目に地面が乾いていて、羊の毛だけが露で濡れていたことを確認したギデオンは、「私にもう一度だけ言わせてください」と言い、今度は羊の毛だけが乾いているということで、みこころを確かめました。私ももう一度、新たなルートで申請することで、主に聞いてみてもいいかもしれないと思いました。

9月16日の理事会でこの方針は承認されました。ということで、まだしばらく待ちの時間が続きます。みなさまのお祈りを感謝します。

ジョイランクーラの病院近くの子供たち

【近藤恵医療宣教師を支える会】
〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1
☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付
e-mail:meg0_02007@yahoo.co.jp

【祈りの課題】

- ビザに関してみこころがなされるように。
- みこころに喜んで従うことができるように。
- ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルのドクター・ルーシーとドクター・タポシュのために。
- 母と姉の救いのために。

小さな Voice

佐藤かおり
LMI世界宣教会　会計事務

小さな忠実な奉仕者として

「最も小さいことに忠実な人は、大きなことにも忠実であり、最も小さなことに不忠実な人は、大きなことにも不忠実です。」（ルカ16：10）

2020年、横浜緑園キリスト教会の原田俊子夫人から安藤眞里姉と共に会計事務を引継ぎました。その際、夫人が奉仕をする時に心がけておられたみことば（ルカ16：10）からメッセージを伺いました。あらゆる大きいこと小さいことにも誠実を心がける、小さなミスにも留意する会計管理者としての心構えを学びました。また前任の会計担当理事の松見ケ丘キリスト教会の池田美榮子姉からは、「宣教師を守るためのものです」と数枚の会計マニュアルを譲り受けました。奉仕を通して、宣教のみ業に関われる喜びとともに身の引き締まる思いでした。

2022年は予期せぬ出来事の連続です。コロナ、ウクライナ侵攻、インフレ…。1ドルが、1月の110円台から9月には140円台と24年ぶりの急速な円安となりました。笹川宣教師ご夫妻へのアメリカ海外送金はドルベースのため、円為替の大幅変動は余裕を欠いた状況になります。また、近藤宣教師のバングラデシュへのビザ取得のことなど、心騒ぐ思いはありますが、神様はいつも最善をなしてくださるお方です。近藤宣教師と笹川宣教師ご夫妻がその召しを全うできるように、小さな奉仕者として陰からお支えできたら幸いです。

（かもい聖書教会員）

世界のLMI

IMPACT move

毎年、100人以上の青年たちがリーベンゼラ宣教団の短期宣教活動に参加しています。この秋から日本でも行われるIMPACT moveという新しい宣教活動プログラムをご紹介させていただきます。

Impact moveというプログラムは、「move in」,「move out」,「move on」の3部構成です。それぞれ3か月間のプログラムです。「move in」では、弟子訓練と聖書の学びが中心ですが、教会での伝道活動も計画されています。次の「move out」では、参加者は他国（例えばザンビアやギリシャなど）で宣教活動を行い、実践的な異文化体験をするとともに、人格的にさらに成熟し、イエスに従う弟子として異文化の中で生きるとはどういうことかを体験します。最後の「mov on」では、参加者はドイツに帰ってからその経験を他の人と共有し、刺激を与えます。そのために、参加者はさまざまな教会で伝道活動を行い、リーベンゼラで行われる宣教大会で奉仕し、自国での国内宣教を経験します。全体として、このプログラムは、青年たちがイエスに従う者として、この世の自分の居場所を見つけ、自分の人生に対する神の意思を見出すことを目的としています。

9月末から12月18日まで、6人のドイツ人青年が横浜市・仲町台のシュラハイムで共同生活を送ります。IMPACT moveという新しいプログラムの一環では、彼らは自分自身と神様について学び、神様のご計画をよりよく理解できるように訓練を受けます。IMPACTチームと担当のソマー宣教師夫妻のためにお祈りいただけたら幸いです。

（アンドレアス・グロース：LMI-Jチームリーダー）

期待されるIMPACTチームのメンバー

New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

7月に祝福のバプテスマ

イースター礼拝以来、毎週礼拝後に学びを続けて来られたSKさんが、7月10日にバプテスマの恵みにあずかりました。SKさんは在NJ州の永住者です。今後末永くNYの教会で主とともに歩ませていただき、多くの在米邦人をキリストの救いへと導く器として共に成長していきたいと願っています。

受洗前の誓約をするSKさん（左）

秋のゴスペルコンサート

10月6日（木）より12月17日のコンサートへ向け、秋のゴスペルワークショップが始まります。春に続き、牧師でありプロのミュージックディレクターでもあるGregory Kellyさんが指導をしてくださいます。出演者にもコンサート入場者にもクリスマスのメッセージとともに福音が届き、救いへのきっかけとなることを祈りつつ活動してまいります。

【祈りの課題】

- **記録的なインフレと円安が止まらず財政がかなり厳しい状態です。宣教活動が守られるように。**
- **９月に97歳になられた教会員への適切なケアができるように。**
- **帰国予定の教会員と求道者の今後の信仰のために。**
- **一時帰国中のMKさんのご両親のケアと信仰が守られるように。**

夏の一日子どもキャンプ

今年は8月24日（水）に教会で子ども一日デイキャンプが行われ、計18名の子どもたちが参加し、楽しい時間の中でみことばの種が蒔かれました。春のゴスペルに初めて参加された方のお子様が8名参加されました。ゴスペル、バイブルキャンプ、クリスマス会、すべての機会を通し、教会と多くのご家族との絆が深められていくことを祈っています。

求道者の動向

SKさんの奥様MKさんが、日本のお父様が末期がんで緩和ケアを受ける状況となったため、お母様のケアも兼ねて、現在一時帰国中です。MKさんのご両親のケアが守られ、MKさんご自身の信仰も深められることを祈っています。

帰国後の教会員の活動

昨年から今年にかけて日本に帰国された３名の姉妹が、NYめぐみ教会でゴスペルを体験して帰国したOBたちとともにゴスペル同窓会を持つという形で、フォローアップ伝道に携わっています。NYめぐみ教会のOBによる帰国者への伝道活動が続けられていることもおぼえていただければと思います。

97歳になられた教会員の誕生祝いランチの様子

連絡先：LMJ世界宣教会　熊久保公義
電話：045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com
HP:https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support

オンライン祈禱会 貴重な恵みのひと時

「主によって語られたことは、必ず実現すると信じた人は幸いです。」（ルカ1：45）

2007年３月、自治医大前キリスト教会で近藤恵医療宣教師の派遣式が礼拝の中で行われ、派遣の按手のお祈りを致しました。その時の厳粛な気持ちを今でも忘れることができません。それから間もなく、バングラデシュに出発の時を迎え、数人の教会員と成田空港に見送りに行きました。手荷物をシンプルにまとめ、出発ゲートに入る恵宣教師の姿をはっきり覚えています。イエス様が12弟子を遣わされる時、「旅のためには、杖一本の他、何も持たないように」と言われました。恵宣教師の中に、行く手を主に委ね、信頼し、従っていく信仰者の姿を教えられました。

その後、現地での働きについては、支える会発行の「小さなえんぴつ」、LMJ発行の「VOICE」で知ることが出来ます。私たちが出来ることは、主にとりなしの祈りを続け、同じ思いになることですが、困難と思えるコロナ禍の中で、主は理事会の先生方を通して、オンラインによる「LMJ　祈禱会」を導いてくださいました。だれでも参加でき、共に祈ることができます。理事の先生方が交代で奨励をしてくださいます。みことばの力強い励ましがあり、主が共にいてくださる恵みの時です。ニューヨーク周辺邦人宣教の笹川雅弘宣教師ご夫妻のご報告と祈りの課題についても詳しく伝えられ、現地の状況が本当によくわかります。オンラインとは言え、顔と顔を合わせての報告にとても親近感を持てます。恵宣教師は現在日本に滞在中で、バングラデシュの病院と連絡を取る中で、主の御心を求めておられます。

宣教師の報告後、３人ほどのグループにシャッフルされて祈りの時を持ちます。他教会の先生や兄弟姉妹と出会えるのもうれしいことです。宣教師の働きを覚えながら一致してのお祈りは、貴重な恵みのひと時です。毎月、第一金曜日が楽しみです。

（**杉山礼子・自治医大前キリスト教会員**）

☆LMJオンライン祈禱会
日時：毎月第１金曜日
午前9時半～10時半

参加ご希望の方はLMJ事務局（lmj@outlook.jp）までお問い合わせください。Zoomミーティング ID をお知らせいたします。

理事会便り

★毎月第一金曜日行われている「LMJ祈禱会」に是非ご参加ください！お問い合わせは事務局まで。

★近藤恵医療宣教師のビザ取得のために御心が示されますように。日本に於ける働きが用いられますように。ドクター・タポシュの健康の回復、責任を担っておられるドクター・ルーシーの働き、働き人の必要、病院の経営のためにも続けてお祈り下さい。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻の働きのために。円安、インフレが続く中、必要が続けて満たされるように。健康が支えられ、すべての働きが祝福されますように。特にクリスマスに向かってのゴスペルワークショップ、たんぽぽミニストリーの祝福のため、人的・経済的な必要のためにも続けてお祈りください。

★各宣教師を送り出すそれぞれの支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられますように。宣教師志願者が起こされた時の十分な備え。

★JOMAなどの他団体との働きが祝福されますように。11月3日、5日に行われる宣教フェスティバルのため。近藤恵宣教師が5日の宣教セミナーでご奉仕します。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。

【祈り】「神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。」（ピリピ2:13）あなたのみこころのままに志を立て、行わせてください。

（田辺証夫・LMI世界宣教会理事長）

LMI世界宣教会

（LM-J 本部＆会計事務局）　〒226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4（かもい聖書教会気付）　☎&Fax 045-931-3312）
e-mail: LMJ@outlook.jp

→ **献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。**

（LMI）http://www.liebezell.org/（ドイツ語）,www.liebenzell.ca/（英語）　**郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」**

[常任理事] 田辺証夫（理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com）熊久保公義（副理事長&書記）村上正道（会計）アンドレアス・グロース（LMI担当）小倉 泉（Bg）立石聖美　**[協力理事]** 木島正敏　兵藤陽子　立石尚志　小堀日出春（Voice編集）
[監　事] 近藤泉　櫛田信　**[会計事務]** 安藤眞里　佐藤かおり